

Aブロック全作品と講評

土



www.columnland.net

使用上の注意

- ・石油中に保管してください。空气中に放置すると発熱し、火災に繋がります。
- ・絶対に素手で触らないでください。火傷の原因になります。
- ・水に入れるときは十分に注意を払ってください。爆発する可能性があります。
- ・水酸化物等の水溶液に硫酸を加えると白い沈殿物を生じることがありますが、これは本製品の特色であり、品質に全く問題はありません。

類似品にご注意ください

近年、「アルカリ金属」と呼ばれる製品が販売されていることがあります。誤って使用した場合、「硫酸を加えても沈殿物を生じない」といった不具合が発生するばかりでなく、思わぬトラブルの原因になります。このような製品を発見された場合はすぐにお客様窓口にお知らせください。

現代人の生活はいつも土とともにある。世の中に出入っている野菜の多くは土に根付いていたのを刈り取ってきたものであり、誰もがほぼ毎日踏みつけているアスファルトの下にもたいてい土がある。また、死を迎えると我々はやがて土に還る。これは墓という字から感じることもできる。

しかし、確実に土は身近でなくなりつつあり、むしろ私たちは土を遠ざけようとしている。先に挙げたアスファルトはもちろん、水耕栽培の広がりもその例である。精神的な面でいえば、家の床に土が散らばることを快く思う人は多くなく、人生の中でそんな事態に直面することはそう何度もあることではない。我々が土に対してこのようであるのはなぜだろうか。

「それは単純に邪魔だからだよ。それに汚いだろう。」

そういう見方ももちろんあるだろうがもつとマクロな視点で考えてみよう。海や陸地を含めた地球を球形の大きな触媒としよう。その表面に有機体のはりつく。そこに光としてエネルギーが供給されると有機体の一部が光を他のエネルギーに変換して他の有機体に供給する。エネルギーを得た有機体は遺伝子情報や知識などといった形で情報を形成し熱を放出する。こういうサイクルがこれまで回ってきた。(これは高校物理の教科書にあった熱機関の図をイメージしてもらえると分かり易いかもしれない。)そして今、地球表面の有機体の系からヒトの系として独立しようとしていて、その過程で土から距離を置こうとしているのだ。ヒトの系として独立することによってエネルギーを他の有機体に依存することがなくなる(食料やその代替物の安定供給ができるようになる)ことでより安定して情報を生産し、維持できるようになることを考えれば自然なことと納得してもらえらるだろう。

人類は母なる大地を離れ、自立し、新たな時代を迎え、何十億年と続いた有機体の歴史に新たなページを加えようというのだ。そしてその場に私たちは立ち会おうとしている。有機体の、そして人類の新たな時代の幕開けを祝う準備をもう始めてもよいのではないだろうか。

一瞬信じられなくて、

僕は今起った現実から目を背けようとした。
回りを見渡すと、誰もいない。

そして足元のふかふかな土に目を向けると、
少しの希望が生まれてくるような気がした。

今なら大丈夫だ…誰も見ていない…

それに…という話がある。

豊かな森の土はたっぶりの栄養を含んでいて、

海に流れて漁業に大きな利益をもたらすそうだし、

小さいころ飼っていたクワガタ虫だって、

ふかふかの腐葉土の中で大きく育ったじゃないか。

土なんて問題じゃないんだ…！

心に決め、足をかかんで地面に近づく。

すると予期せぬ黒いものが、石とは違う何かが

見えてきた…犬のフンだった。

僕の頭に電撃が走り、僕は立ち上がって前を向く。

諦めとは違う何かが、逆らえない自然の摂理に出会った

時のようなすがすがしい気持ちで、僕を前進させる。

そっか。次の「フン」に寄ろう。

僕は落とした唐揚げを拾うのを止めた。

冬風よ

何をなくして

我が心

冷たき土に

吹きすさぶのか

ある日、世界から「土」が消えた

農業の今後を憂いていた農家のおじさんは、ケロつとした顔で水耕栽培をはじめていた
子供の泥汚れに悩まされずに済むわ、と言っていた近所のお婆さんは、今度は子供の怪我
に悩まされることになった

結局「土」なんかあってもなくても変わらないんだ

僕はそう思った

次の日、世界からクラスメイトの「田中君」が消えた

田中君の突然の失踪に涙した彼の友人は、ケロつとした顔で他の友達と遊んでいた
イジるやついなくてつまんね、と言っていたクラスのいじめっ子たちは、今度はその標的
を僕に向けてきた

結局「田中君」なんかいてもいなくても変わらないんだ

僕はそう思った

…じゃあ「僕」は？

逆に考えよう

僕なんかいてもいなくても変わらない
それなら何をやっても構わないはずだ

誰も僕のことなんか見ていやしない
それならやりたいことを大胆にしよう

いつ消されるかわからないこの世界で、臆病になっている暇なんてない

やりたいことは全部やる！

そんな大人に、僕はなりたい

ファーストキスはレモンの味
に異議申し立てる。

人は二本足で歩行する。

ゆえに不安定である。

すなわちずっこけるのである。

頭の大きな幼児期ならなおのこと。

ずっこけ地面に顔面ダイブで口に広がる土の味。

今、私はここに宣言する。

ファーストキスは土の味。

(注)そんなことになるのは地面に到達する前に手をつけない

運動音痴だけだという異論は断固拒否する。

二〇一三年七月二二日、とある高校の放課後にて。

「おお、野沢じゃん、となるとこの手紙は、お前か？」

「う、うん」

「どうしたんだ？わざわざこんなところに呼び出して」

「じ、実は、佐々木くんに渡したいものがある」

「お、何だ？」

「こ、これを！——受け取って欲しいなって」

「え、マジで？いいの？ありがとう！」

「おい佐々木、何だよそれ？」

「しっ、声がでかいよ」

「誰からだ？」

「野沢から」

「お前野沢からも貰ったのか！マジかよ見せてくれよ」

「見なくても分かるだろ、ほれ、ウナギだ」

「いいなー、お前はモテて」

「大してモテないよ」

「いや、俺は知ってるからな。朝、お前の下駄箱を見たらウナギの蒲焼きが三個も入ってた」

「何勝手に見てんだよ……まああれは、義理ウナギかもしれないだろ」

「しかも、お前の机の中には生のウナギが入ってた」

「ああ、うん、あれは掴むのに苦労したよ」

「それは贅沢な悩みってヤツだよ。俺なんか一つもウナギがもらえないんだからな」

「ドンマイだ、じゃあこれ一つやるよ」

「お前から貰っても別に嬉しくないんだが」

「まあ俺も処理に困ってるんだ、助けると思って」

「ならいただこうか。いいなー、お前はそんなにモテて」

「でもモテたらモテたで困るよ、だって今年は八月三日に女子にウナギを三倍にして返さないといけないし」

「そっか、今年は土用の丑の日二回あるもんな」

「もし平賀源内がバレンタインデー商法を編み出していたら」

幼稚園の頃に見た土

それはダイヤモンドの塊

小学生の頃に見た土

それを気にせず駆け回っていた自分

中学生の頃に見た土

部活の思い出とともに刻まれたしるし

高校生の頃に見た土

途方に暮れた夜に見下ろした心

そして、今

大学生の頃に見る土

一步一步踏みしめていく道

「土にかえる」

コンテスト結果

[Aの部]

コ ラ ム 番 号	コラムタイトル	点数	順位	特別賞
		まじょコメント		
A01	(株)アルカリ土類金属販売	20 pt	1 位	4 sp
		<p>まさかのアルカリ土類。いきなり超コアなところを攻めてきて、TAさんともども感嘆です。 ネタをただ投げて終わるのでなく、類似品注意などていねいにつくりこんであるエンターテナー精神も◎。 みごと初回の首位を攫い、最多特別賞も受賞しました。 おめでとう!!! 特別賞：東工大らしいで賞（ザ・理系な感じのコラムだったから）ノーベル化学賞（着眼点が面白い。理系こじらせてる所が良い。） 1等賞（全員一致の1位。完全勝利だったから）東工大生で賞（東工大生しかわからない） イチオシフレーズ：「類似品にご注意ください」</p>		
A02	人類の乳離れ	1 pt	8 位	0 sp
		<p>いきなり論説体に挑んだファイティング・スピリットに乾杯。かっちり詰めるのでなく、ムチャな飛躍を承知で、ぽんぽんぽんとなつなげて、豪腕で結論を導こうという作戦だったのでしょうか。書き慣れてますね。 イチオシフレーズ：「それは単純に邪魔だからだよ。」</p>		
A03	土と唐揚げ	17 pt	4 位	0 sp
		<p>ものものしい文体で引っ張って引っ張って、すこーんと唐揚げオチ。軽快に決まりました。一人称視点の工夫が光ります。 タイトル、ネタバレてしまうので要工夫。 イチオシフレーズ：「今なら大丈夫だ……誰も見ていない」「僕は落とした唐揚げを拾うのを止めた。」</p>		
A04	無題（冬風よ）	3 pt	7 位	2 sp
		<p>しょっぱなから短歌とは攻めますね～。フォント選びもナイス。 冬に何か悲しいできごとがあったのでしょうか？ いろんな想像を誘います。 特別賞：風流で賞（日本人を感じる）黒歴史賞（なんか格好いいフレーズを並べてるだけな感じ）</p>		
A05	無題（世界から土が消えた）	5 pt	6 位	1 sp
		<p>土にちょっと挨拶して、そのあとは田中君へ。 別に何やったっていいわけだよね、という開き直りの論理がすがすがしい自由奔放展開でした。 特別賞：土、関係ないで賞（お題、何でもよくないですか） イチオシフレーズ：「いつ消されるかわからないこの世界で、臆病になっている暇なんてない」</p>		
		18 pt	2 位	3 sp

A06	無題（ファーストキスは）	とぼけた口調で幼児体験暴露。笑いました。 そしてまさかの実話カミングアウト。満場びっくりです。おめでとうシルバー・メダル&イチオシフリーズ大賞!!! 特別賞：悲しくなるで賞（悲しいから） おもしろかったで賞（とてもおもしろかったから） 注賞（チューしように聞こえたから） イチオシフリーズ：「ファーストキスは土の味」×5
A07	もし平賀源内がバレンタインデー商法を編み出していたら	18 pt 2 位 3 sp わあお。土用のウナギからここまで展開してきましたか。チョコ転じてウナギ。その落差に笑いつつ、ストーリーにもきっちりオチが付いて、まことにおみごとなお点前で、おいしくいただきました。 おめでとうシルバー・メダル!! 特別賞：笑ったで賞（内容がユニークで面白かったから） ウナギ賞（すごくウナギ） 我らが思った"土"と違うで賞（よく思いついたなー） イチオシフリーズ：「もし平賀源内がバレンタインデー商法を編み出していたら」略して「もし平」「義理ウナギ」×2 「——ほれ、ウナギだ」
A08	土にかえる	8 pt 5 位 2 sp 一步一步踏みしめてきて今がある。 自らの成長プロセスを振り返って確認したくなるような、しみじみテイストのAブロック今週の読み納めでした。 特別賞：Theまともで賞（他がネタにはしっているなかで、一番コラムっぽい感じだったから） まじめで賞（恥を捨ててがんばった感じがよい。人生が土とともにあるというメッセージがいい感じ） イチオシフリーズ：「一步一步踏みしめていく道」

[Bの部]

コラム番号	コラムタイトル	点数	順位	特別賞
		まじょコメント		
B01	無題(お静かに)	31 pt 1 位 0 sp うわーこわっっ！な今週の表紙です。 桜の木のもとだったら、より怖い。 シンプルにシンプルに、これ以上ないくらいに情報を削ぎ落として、ひと思いにグサッ！みごとヒットして初回の覇者に輝きました、おめでとう!!! イチオシフリーズ：「下で眠っている人」		
B02	東工高校球児新聞	0 pt 6 位 2 sp なるほど新手的部員募集法ですね。手が込んでるなあ。しっかり楽しめました。 えー——っ！こ、こ、これがゼロポイント！？と結果にTA一同啞然です。秀作すぎて伝わらなかったのかなあ、ぜひ読み返してみて、とのこと。 なお、今回はTAさんがギリ・セーフにしてくれましたけど、ウチワ＝コード違反ととられかねない「東工」は避		

		<p>けたほうが賢明です、みなさま。 特別賞：こってるで賞（頑張って考えられた作品だから） 熱いで賞（入部したくなる）</p>
B03	圧倒	<p>13 pt 4 位 3 sp</p> <p>砂金です——ラスト 1 行のインパクトが巨大で、みごとに高校球児をすこーんと吹っ飛ばしていただきました。そのインパクトで圧勝のイチオシフリーズ大賞です、おめでとう！ 特別賞：金賞（「砂金です」がきばつでいい） オチががんばれ賞（オチがあまり面白くないから） 価値が違うで賞（独特の雰囲気があったから） イチオシフリーズ：「砂金です。」×10</p>
B04	土埃り	<p>0 pt 6 位 0 sp</p> <p>埃っぽい短歌ですね～。 「春」という言葉が重なったり、短歌のお作法は無視の産物だけれど、ちょっと前の春一番を思い起こさせて、季節感◎。</p>
B05	土を怒らせてはいけない	<p>26 pt 2 位 1 sp</p> <p>「ドシャ」のコミカルな語感に大爆笑です。ぽんぽんぽんと軽快に言葉遊びジャブを繰り出しつつ、ドシャ。構成の妙、おみごとでした。おめでとうシルバー・メダル!! 特別賞：惜しかったで賞（同点で 4 位だったから） イチオシフリーズ：「ドシャっと」「ドシャっと泣き崩れたら」</p>
B06	甲子園を去る士たち	<p>0 pt 6 位 2 sp</p> <p>土とともに去る士たち。球児たちの熱き思いとともに、ラストにさらりと入れた工夫が好印象。 特別賞：優賞（土じゃなく土にしたから） 甲子園賞（景色が思い浮かぶ） イチオシフリーズ：「甲子園を去る士たち」</p>
B07	ひまわりのふねとひまわりのほし	<p>4 pt 5 位 5 sp</p> <p>いきなり力作ですね～。 宇宙を旅するひまわり号。待って待って、何世代も待って、やっといちめんのひまわり畑へ、きれいに着陸しました。文学賞総なめで最多特別書受賞です。おめでとう！ まあ、去年のコラムキングダムでめいっぱい修行を積まれた上級者さんですから、別格と思ってやってくださいませ。 3 文字の通り名で呼んで差し上げると喜びます、たぶん。 特別賞：長いで賞（長いから） がんばったで賞（長い。感動） がんばったで賞（長くて読むのが大変だったけど深くて感動する） 直木賞（感動した） 芥川賞（文学的にすばらしい。書いた人の性別を知りたい）</p>
B08	無題(春には花が)	<p>16 pt 3 位 2 sp</p> <p>四季それぞれに呼応して、土の四季。地味けれども頼もしい。ナイス観察眼で、今週の読み納めでした。たくさん共感呼んでブロンズ・メダルゲットです、おめでとう！ 特別賞：詩人賞（春夏秋冬の使い方がよいから） にわかで賞（きれいごとをかきやがって）</p>

イチオシフリーズ：「たまには下を向いてしまってもいいんじゃないかなと思った」